



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月7日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
コード番号 3537 URL <https://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,973	7.2	136	38.7	173	35.5	116	36.7
2024年3月期第1四半期	5,571	△11.6	98	△41.2	128	△38.9	85	△45.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 586百万円(206.6%) 2024年3月期第1四半期 191百万円(△47.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	34.29	—
2024年3月期第1四半期	25.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,324	8,594	49.6
2024年3月期	16,815	8,137	48.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 8,594百万円 2024年3月期 8,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,221	1.0	174	△26.1	254	△27.2	172	△30.2	50.60
通期	22,677	0.4	343	△21.9	503	△22.7	348	△29.2	102.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	3,579,105株	2024年3月期	3,579,105株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	177,230株	2024年3月期	177,230株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	3,401,875株	2024年3月期1Q	3,392,875株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大などで緩やかな回復基調で推移しました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東情勢などの地政学リスク、為替相場の変動や物価高騰など、先行きについては不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界は、生産・販売活動とも前年よりも少し回復基調で推移しました。

こうした中、当社グループにおいてもオンラインによるWeb商談や対面による商談回数を増やし、化学品事業における既存販売先への拡販・拡充、環境ソリューションビジネスの提案、新興国化学品の販売拡大に取り組んでまいりました。また、仕入・販売価格に影響を及ぼす天然油脂（パーム油）相場価格も比較的安定した価格帯で推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,973,208千円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は136,289千円（前年同四半期比38.7%増）、経常利益は173,953千円（前年同四半期比35.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は116,662千円（前年同四半期比36.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用41,818千円（前年同四半期比8.6%減）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、海外経済の減速懸念はあるものの、自動車関連や繊維油剤関連の国内主要得意先からの受注が堅調に推移し、新興国化学品の販売も堅調で、円安による輸出原料の販売も好調となりました。

この結果、化学品事業に係る当第1四半期連結累計期間の売上高は5,459,627千円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益は152,982千円（前年同四半期比25.5%増）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、円安や原料高による仕入れ価格の高騰、物流費のコストアップ等厳しい事業環境でありましたが、当事業が取扱う掃除用関連商品や生活日用品（洗濯槽クリーナーや用途別脱臭剤）の一部定番商品の売行きが堅調に推移し、またその他忌避剤等の季節性商品の売行きが好調に推移しました。

この結果、日用品事業に係る当第1四半期連結累計期間の売上高は212,181千円（前年同四半期比10.6%増）、セグメント利益は23,143千円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、当事業の取扱商品とかかわりの深いコンクリート補修補強工事は低調なもの、地盤改良工事は好調で、工事に使用される材料・添加剤等の販売は好調に推移しました。一方、環境関連薬剤の販売は、前年よりスタートした新規の大型プロジェクト（トンネル工事）物件の受注が継続し、堅調に推移しました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第1四半期連結累計期間の売上高は301,399千円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント利益は1,981千円（前年同四半期比38.7%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は17,324,606千円(前連結会計年度末比508,662千円の増加)となりました。主な要因は、現金及び預金が354,288千円減少した一方で、保有株式の時価変動等により投資有価証券が660,797千円、売上債権が220,727千円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は8,729,719千円(前連結会計年度末比51,310千円の増加)となりました。主な要因は、短期借入金が300,000千円、未払法人税等が72,305千円、賞与引当金が36,794千円それぞれ減少した一方で、支払手形及び買掛金が247,490千円、繰延税金負債が246,627千円それぞれ増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は8,594,887千円(前連結会計年度末比457,352千円の増加)となりました。主な要因は、保有株式の時価変動によりその他有価証券評価差額金が457,854千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,190,987	1,836,699
受取手形	587,696	564,689
電子記録債権	1,315,170	1,339,714
売掛金	6,285,256	6,504,448
商品	576,214	509,533
その他	113,708	164,677
貸倒引当金	△692	△715
流動資産合計	11,068,341	10,919,046
固定資産		
有形固定資産	163,740	162,245
無形固定資産	1,569	1,510
投資その他の資産		
投資有価証券	5,049,726	5,710,523
敷金及び保証金	352,921	353,963
繰延税金資産	638	736
その他	183,310	182,913
貸倒引当金	△4,305	△6,331
投資その他の資産合計	5,582,291	6,241,804
固定資産合計	5,747,601	6,405,559
資産合計	16,815,943	17,324,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,355,929	6,603,419
短期借入金	600,000	300,000
未払法人税等	89,168	16,863
賞与引当金	83,017	46,223
株主優待引当金	24,313	9,938
その他	175,087	156,845
流動負債合計	7,327,516	7,133,290
固定負債		
退職給付に係る負債	51,091	49,187
長期末払金	47,465	48,250
繰延税金負債	1,220,781	1,467,409
その他	31,554	31,581
固定負債合計	1,350,892	1,596,428
負債合計	8,678,409	8,729,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	173,808	173,808
利益剰余金	4,666,011	4,653,402
自己株式	△169,481	△169,481
株主資本合計	4,918,507	4,905,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,001,132	3,458,986
為替換算調整勘定	217,894	230,002
その他の包括利益累計額合計	3,219,027	3,688,988
純資産合計	8,137,534	8,594,887
負債純資産合計	16,815,943	17,324,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,571,468	5,973,208
売上原価	5,116,772	5,464,304
売上総利益	454,695	508,903
販売費及び一般管理費	356,460	372,613
営業利益	98,234	136,289
営業外収益		
受取利息	1,630	2,259
受取配当金	7,465	8,204
為替差益	17,335	20,353
不動産賃貸料	5,537	5,537
その他	618	3,460
営業外収益合計	32,586	39,816
営業外費用		
支払利息	54	103
不動産賃貸原価	2,131	2,021
その他	301	26
営業外費用合計	2,488	2,152
経常利益	128,333	173,953
税金等調整前四半期純利益	128,333	173,953
法人税、住民税及び事業税	23,476	12,449
法人税等調整額	19,504	44,842
法人税等合計	42,980	57,291
四半期純利益	85,352	116,662
親会社株主に帰属する四半期純利益	85,352	116,662

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	85,352	116,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,960	457,854
為替換算調整勘定	16,991	12,107
その他の包括利益合計	105,951	469,961
四半期包括利益	191,304	586,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,304	586,623

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,076,713	191,815	302,938	5,571,468	—	5,571,468
外部顧客への売上高	5,076,713	191,815	302,938	5,571,468	—	5,571,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,155	—	—	1,155	△1,155	—
計	5,077,869	191,815	302,938	5,572,624	△1,155	5,571,468
セグメント利益	121,861	20,694	1,429	143,984	△45,750	98,234

(注) 1. セグメント利益の調整額△45,750千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△45,750千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,459,627	212,181	301,399	5,973,208	—	5,973,208
外部顧客への売上高	5,459,627	212,181	301,399	5,973,208	—	5,973,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	821	—	—	821	△821	—
計	5,460,449	212,181	301,399	5,974,029	△821	5,973,208
セグメント利益	152,982	23,143	1,981	178,108	△41,818	136,289

(注) 1. セグメント利益の調整額△41,818千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△41,818千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3,477千円	3,129千円

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。